

08

Sumori's Quality

建物の大きな荷重を支える頑丈な土台 基礎



「30年も持たない基礎や土台」を根底から一変。
建物の荷重を面で受け、安定性に優れたベタ基礎を採用。
スモリの家は足腰がガッシリした家です。

第三者による配筋検査

自社の検査だけでなく、第三者機関による配筋検査を受け、
検査に合格した物件のみ、その先の工程に進めます。

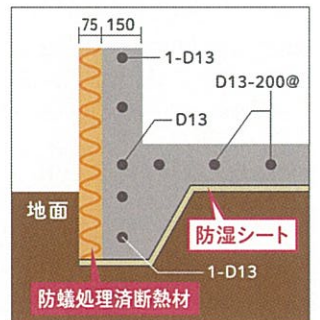


家の耐久性を向上させる 頑丈なベタ基礎

基礎に使用する鉄筋とコンクリートの量は、一般的な基礎の
約2倍に及んでいます。

アンカーボルトで基礎と構造体を一体化し、外周部や耐圧版
下面にも鉄筋が入っているので極めて堅牢で安心です。
さらに、床を支える土台と大引で構成され、さらに24mm厚の
構造用合板で支えます。

もちろん、家全体の耐久性にも大きく威力を発揮します。



太い木材が
縦横に走る
頑丈そのもの
土台構造

ベタ基礎は
地震にも強い

基礎もしっかり断熱

寒冷地では、基礎を凍結などから守るために基礎断熱を行う
のが基本です。基礎をしっかり断熱することで、床下のベタ基
礎部分が熱を蓄え、冬でも床は冷たくなりません。

まるで床暖房のように、靴下いらすの快適さです。



次世代の地盤調査「SDS®試験」

SDS®試験とは、SWS(スウェーデン
式サウンディング)試験を進化させ
た新しい調査方式です。

低コスト、短納期で土質の推定が
行えるので地盤事故を減らす技術
として、さらに需要を高めています。

①ボーリング調査に匹敵する 精度で土質判定*

従来のSWS試験では、「ジャリジャリ」などの音で土質
を推定していました。

これに対し、SDS®試験ではトルクなどのパラメータや
地形条件、近隣ボーリングデータなどを参考に、土質
の推定精度を高めることに成功しました。SDS®試験
は、特許技術を使用するとともに、一般財団法人ベ
ターリングの建設技術審査証明も取得しています。

②土質がわかれば コストダウンにも貢献!

SDS®試験は、土質を判定できるの
で、地盤事故の低減に貢献すると
ともに、良質地盤で杭を打つといった
過剰設計(補強工事)の低減により
コストダウンにもつながります。

*ボーリングによる採取試料から実施した、粒度試験による土質判別(砂・粘性土など)とSDS®試験から統計的に判別した土質との相関は85%以上の精度を持っています。